

## 事例研究報告

自発的な行動を引き出すための支援  
～情報提示と  
教員の関わり方を通して～

# 児童・生徒の実態

## 高等部（自閉症スペクトラム障がい）

- 視覚化することで伝わりやすく，一人で行動することができる。
- 口頭のみで指示や説明を理解することや，考えを言葉で伝えることが難しい。
- こだわりが強く，自分のやり方が入ってしまうと修正が難しい。
- 自分に楽になることを選択しやすい。
- 意欲につながる好子が少ない。

## 保護者の願い

就労に向けて一人でできることが増えてほしい。

## 教員の願い

言葉かけによる行動の開始ではなく、視覚的な情報を頼りに自発的な行動を増やしてほしい。

## ベースライン 「朝のSHRまでに一人で準備をする」

5月9日～5月20日

朝のSHRまでにやることを、「やることリスト」としてホワイトボードに書いておく。登校後、本人とリストを確認し行動を促す。

5月23日～6月3日

ポケット式のフォトアルバムに入れた「やることリスト」を提示する。

### やることリスト

- ・検温の記入
- ・着替え
- ・トイレを済ませる
- ・貴重品を預ける

(結果) 5月9日から6月3日の間で、2日間 (5/23, 6/1) のみ達成

(考えられる原因)

- ・自分のこだわりの行動 (手を洗う, 手を消毒する, トイレに行く等) を優先し準備に取り掛かるまでに時間がかかった。
- ・教員の言葉かけのタイミングが早く, 自発的な行動が出る前に言葉かけで行動を促してしまうことがあった。

## 「登校後8:50までに一人で準備をする」

- ・ やることリスト（4項目：検温をして記録用紙に記入する，体操服に着替える，貴重品を職員室に預ける，トイレに行く）に時間を追記する。

### 指導 I

期間 6月20日～7月1日

目標：貴重品を職員室に提出したら終了  
結果：1日のみ達成

（考えられる原因）

- ・ 貴重品の準備（机の上に置く）まではできている。  
教員が貴重品を教室で預かることがあり，本人が楽な方（職員室に持って行かなくてもいい）を選んでいる。→職員室に行くことは「難関」が多いのでは？  
《職員室への難関と考えられること》
  - ① 教室から職員室までの廊下で多くの人に声を掛けてもらえる。（↑・↓）
  - ② 入室時の挨拶の仕方や預ける言い方を繰り返しやり直させられる。（↓）
- ・ 言葉かけを待ってから行動しているのでは？（人との関わりを求めているのでは!?)

#### やることリスト

- ① 検温をして記録用紙に書く
- ② 体操服に着替える（5分）
- ③ 貴重品を職員室に持って行く
- ④ トイレに行く

8:50までにできるとOK!

## 「登校後8:50までに一人で準備をする」

- ・ やることリスト（4項目：検温をして記録用紙に記入する，体操服に着替える，**「貴重品を机の上に出す」に変更**，トイレに行く）を提示する

### 指導2

期間7月4日～7月20日

目標：貴重品を机の上に置いたら終了  
結果：8日達成

（考えられる原因）

- ・ カバンの中のものを出す（ロッカー，机上等）→トイレ→検温→着替えまでの流れは指示を受けなくても定着している。
- ・ 貴重品を預けるように促すとできる。→言葉かけを待っているのでは!?

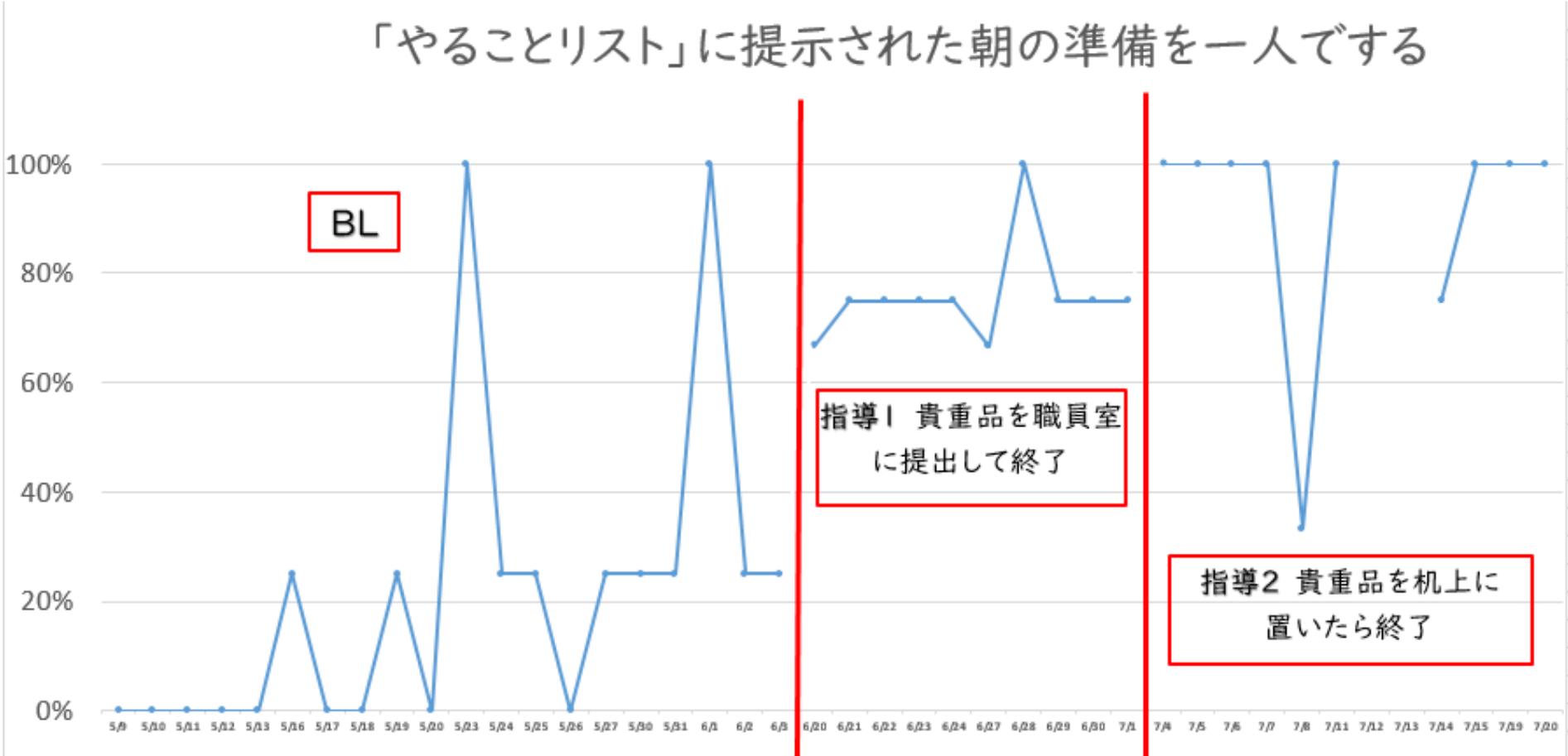
#### やることリスト

- ① 検温をして記録用紙に書く
- ② 体操服に着替える（5分）
- ③ 貴重品を机の上に出す
- ④ トイレに行く

8:50までにできるとOK!

# 結果（コンサルテーションまでの取組）

「やることリスト」に提示された朝の準備を一人でする



BL

指導1 貴重品を職員室に提出して終了

指導2 貴重品を机の上に置いたら終了

できた項目を%で表示  
 4つ全て達成で100%  
 3つで75%  
 2つで50%  
 1つで25%

\*着替えのない日は  
 3項目で実施  
 3つ全て達成で100%  
 2つで66%  
 1つで33%

# アドバイザーからの助言

- 口答指示で伝わっていない可能性がある。
- 「しんどいことをしたら良いことがある」という状態を作り出す。
- こだわりを減らすことより、やるべきことをする手立てを行う。
- プロンプトを細かく決め（タイミングや種類），他の教員でも同じ指導ができるように全体で共有する。
- 言葉かけが多くなってしまうと他者依存する傾向になるため，スケジュール等を利用して，自立を促す。
- 生徒が行動する前に言葉かけをせず，行動するまで待つことで，主体的な行動を増やしていく。般化場面は待つ時間が必要なため，時間にゆとりのある場面設定が望ましい。
- トークンのポイント
  - ①どの行動に対してトークンを与えるかを定める
  - ②バックアップ強化子（好きなものを選択できる）
  - ③いくつトークンがたまったら好きな物と交換できるかを定める

## 助言を受けての見直し

- 提示（やることリスト，終了時間）を明確にして，本人と確認する。
- 時間内に行う活動を増やす。
- プロンプトを細分化（時間を過ぎたときのみ実施）する。
- トークンとバックアップ強化子を充実させ，貯める個数や選択肢を増やす。

## 指導3

期間：9月6日～9月21日

### 【目標】

「やることリスト」に提示された朝の準備を設定した時間までに一人でする。

### 【ルール】

- ・「やることリスト」（検温記録、貴重品、着替え、トイレ）の内容の確認と終了時間を本人と行う。
- ・時間内にできたら強化子（お菓子1個）をもらえる。
- ・プロンプトは時間が来たときのみ行う。

【達成基準】5日連続で達成

【結果】9月14日～21日で達成

\*ルールの理解ができていないときは、こだわり行動が増え、着替えに時間がかかることが多かった。

\*強化子が入ったため取りかかりが良くなった。

## 指導4

期間：9月22日～10月7日

### 【目標】

準備ができたなら貴重品を職員室に持って行く。

#### 【ルール】（指導3からの変更点）

- ・机上においてある貴重品を職員室に持って行くと達成というルールに変更。
- ・プロンプトの細分化（時間が来たときのみ実施）  
名前を呼ぶ→言葉かけ「職員室に持って行きます」→言葉かけと指さし  
(弱) (強)

【達成基準】5日連続で達成

【結果】9月30日～10月7日で5日間連続達成

\*指導開始初日にルール確認後、3日でプロンプトの必要なし。

\*本人から繰り返し確認があったが、無反応で自発的行動が出現。

## 指導 5

期間：10月11日～10月21日

### 【目標】

準備ができたなら貴重品を職員室に持って行く。

#### 【ルール】（指導4からの変更点）

- ・本人への提示内容の変更（右表）。  
→本来プロンプトなしでできていた行動（かばんの整理、体育の週数表）を追記し、朝の準備ですべき情報を一本化した）
- ・結果を本人と確認できるよう記録欄を追加。

【達成基準】 5日連続で達成

【結果】 10月17日～10月21日で5日間連続達成

\*10月13日の75%は検温記入忘れ

朝の準備

やってみよう

【目標】  
8:50までに貴重品を職員室に持って行きましょう

（準備しておくこと）

- ・検温の記入
- ・カバンの整理
- ・貴重品を袋に入れる
- ・着替え（必要なとき）
- ・トイレを済ませておく
- ・体育の週数表に記入する

追記

1	2	3	4	5
/	/	/	/	/

日々の記録をつけ  
振り返りを実施

## 指導 6

期間：10月24日～10月28日，11月29日～12月16日

### 【目標】

準備ができたなら貴重品を職員室に持って行く。

#### 【ルール】（指導5からの変更点）

- ・本人提示する表については指導5から継続して使用
- ・「5日連続達成で文房具3つと交換」に変更
  - \* トークンエコノミーのルールについて，カレンダーと具体物を用いて説明を行った。

#### 【達成基準】5日連続で達成

#### 【結果】10月24日～10月28日で5日間連続達成

\* 目標達成後に校内実習と現場実習等があったため，実習後の11月29日から引き続き指導を実施した。

\* 1/10から，個別表示（視覚的情報の提示）を中止した。

朝の準備

やってみよう

【目標】  
8:50までに貴重品を職員室に持って行きましょう

（準備しておくこと）

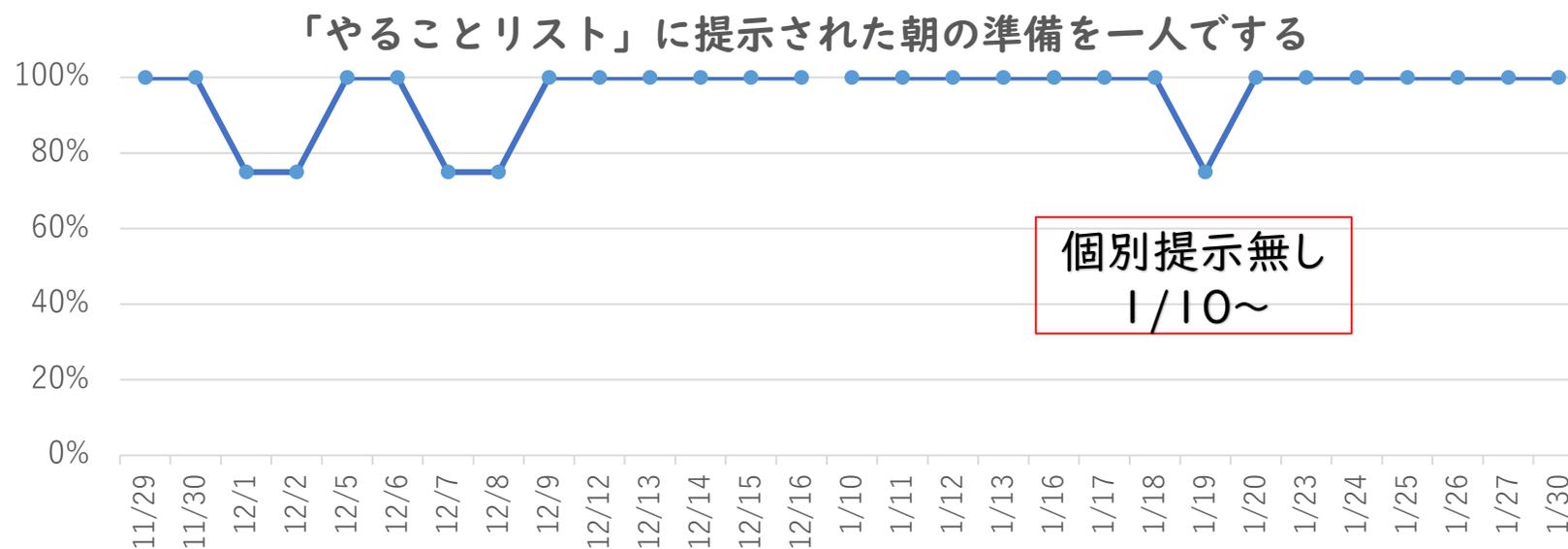
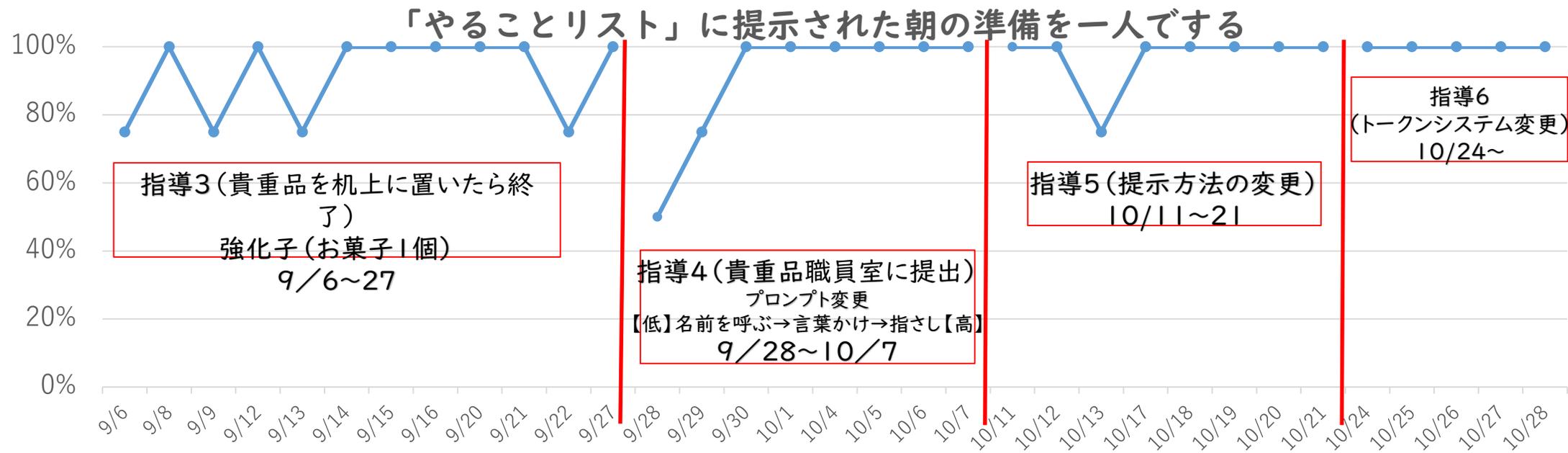
- ・検温の記入
- ・カバンの整理
- ・貴重品を袋に入れる
- ・着替え（必要なとき）
- ・トイレを済ませておく
- ・体育の週数表に記入する

○が5つたまれば好きな文房具が3つもらえます!がんばれ!!

1	2	3	4	5
/	/	/	/	/

おめでとう

# 結果



できた項目を%で表示  
4つ全て達成で100%  
3つで75%  
2つで50%  
1つで25%

\*着替えのない日は  
3項目で実施  
3つ全て達成で100%  
2つで66%  
1つで33%

## 指導の成果

- 入学当時は言葉かけによる促して行動することが多かったが、視覚的に提示することで自発的な行動が増えてきた。
- 「何を」「どれくらい」「いつまでに」等，目的や時間，回数を具体的に伝えることで本人が理解して行動することができた。
- 成功の記録やトークンについて本人に視覚的に提示することで，「行動すれば良いことがある」が定着し，活動への意欲が高まった。

# ここが成功のポイント！

- 今回の取組を実施するか否か，強化子を何にするかなどについて，交渉により本人が選択・決定したことで行動の定着がスムーズに！
- 記録は裏切らない！（本人との振り返りや変化への気づき）
- できなかったことには無反応，できたときにのみ称賛することで，注目行動等の不必要な人との関わりが減った！
- 望ましい行動を目指すにはトークンを惜しみなく出す！
- 待つこと！（本人の自発的行動に合わせる）